

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100211		
法人名	医療法人コスモス		
事業所名	グループホームコスモスあもり		
所在地	長野県長野市安茂里1798番地1		
自己評価作成日	令和 2年 11月 13日	評価結果市町村受理日	令和 3年 1月 8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JiyosyoCd=2090100211-00&amp;PrefCd=20&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JiyosyoCd=2090100211-00&amp;PrefCd=20&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 2年 11月 26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今年度、新型コロナウイルスの為に、外出やボランティアの受け入れも無くなり、外部との接触も少なくなり物足りないようにも思われましたが、排泄の際に使う新聞紙を畳んだり、拭拭用の布を切つてくださり毎日の日課になっている。また利用者さん同士おしゃべりを楽しんだり、ペットボルのパズル、箱作り、塗り絵、ドリル等、それぞれ自分の得意な事をして過ごされています。そして、毎日、ラジオ体操、口腔体操を取り入れ、職員と一対一で会話をしながらの廊下歩行では、廊下に貼ってあるクイズに挑戦したり、反対の利用者様や職員に挨拶を交わす日課になっています。また毎月行事を計画し、今年度はホーム内で出来る事を考え、夏祭り、運動会、食レク等で楽しんで頂き、誕生日には食べたいメニュー、ケーキでお祝いし、喜んでいただいている。今年度は面会できない時期もあり、その際は、行事や、普段の生活の様子の写真をお手紙を添えてご家族に送り、毎月の生活記録も送りお知らせしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長野市安茂里地区、市安茂里公民館や(福)長野市社会福祉協議会安茂里介護サービスセンターなどの周りに広がる商店街や住宅街の中に当ホームがある。ホームのすぐ北側には北陸新幹線の高架橋があり、また、JR篠ノ井線、しなの鉄道なども走り、町場の様相を更に色濃くしている。ホームは開設から12年目を迎えており、平均年齢88.9歳、介護度平均2.2という18名の利用者が新型コロナウイルス禍をものともせず元気に暮らしている。当ホームは地区の避難所となっている隣接有料老人ホームとともに、まさに地域に根ざした、開かれたホームとなっている。4年前に職員で決めた「あ」「も」「り」を頭文字とした運営理念の「笑顔あふれる生活を送ること」「持てる力を活かし、その人らしく過ごすこと」「利用者を理解し、共感し、一人一人を尊重すること」を職員に周知徹底し日頃の業務の中で実践している。今年度当初から新型コロナウイルス感染の影響を受け、例年実施していた花見、善光寺参り、七夕見物等の外出行事を自粛せざる得なくなったが、6月から7月にかけてのコロナウイルス下火の時に、法人内クリニックでの健診の帰途、公園に立ち寄り外気に触れたり、気分転換をしたという。また、例年実施している地区の運動会の見学、中学生の職場体験の受け入れ、歯科衛生士を目指す専門学校生の実習の受け入れ等も中止となり、定期的にあった楽器演奏や大正琴、風景紹介等のボランティアの来訪も自粛という状況が続いている。そうした中でも、コロナウイルスが下火となった一時期、唱歌と童謡を愛する会、アニマルセラピーなどのボランティアがホームを訪れ、ビニールの仕切り越しに利用者や交流したという。新型コロナウイルス禍、運動会、カラオケ、色々なレクリエーションなど、室内で楽しむよう職員が工夫し全利用者が参加できるように、職員も利用者とともに楽しみストレスを解消している。新型コロナウイルスという未曾有の体験の中、全職員が色々な知恵を出し合い新たな対応でその逆境を乗り越えようとしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				